

テクノロジー部門

最優秀賞

徳山工業高等専門学校
黒田 浩晟さん

誰にも持っていられない安心傘

概要

鍵付きで着脱可能な柄を持ち、しかも柄を外すと開閉ができなくなる安心傘。柄が鍵の役割を果たすので、鍵を持ち歩く必要がなく、開閉もたやすい。柄を傘本体に差し込み、90度回

転させれば柄が固定され、傘を開くことができる。柄を差し込まないと開くことができないので盗難リスクが低く、置き忘れの心配が少ない。構造も簡単なので実用性も高い。

取り外し可能な柄の内部には鍵が組み込まれ、傘本体の軸の端部にある錠部に

課題

傘に鍵をつけるという発想は古くからある。ダイヤル式の錠を組み込んだり、柄が外れる特許もある。しかし実際に普及しないのは、錠は紛失しやすくダイヤル錠は作業が面倒、また柄が外れるだけでは持ち逃げの危険性があるなど種々

起業と市場性

起業の意志がある。日本国内の傘の消費量は約1億3000万本で、1年間に一人が1本購入している。生活必需品なので消費が大きく減退することは想定しにくい。雨傘だけでなく日傘もあり、需要は高いとみている。また近年は16本骨傘や24本骨傘、高強度グラスファイバー傘などの高付加価値品が出回っており、すぐに買い替えるという概念が減少している。これら

の高付加価値品は少々高価でもあり、防犯意識も高まると考えられる。当初は盗難を心配する人やよく置き忘れる人をターゲットにするが、最終的には全生産量の1割程度の導入をめざす。生活必需品であり、海外の需要も期待できる。傘本体の生産は外部に委託し、錠の部分と柄を製造してそれを供給する仕組みを考えている。そうすれば加工規模が小規模で済み、起業しやすいと判断している。販売価格は2500円内外を想定している。

講評

10年目にあたる今回は過去平均の倍近い170件の応募がありました。これだけ多くの若者が挑戦していただいたこと自体大変素晴らしいことと思っております。興味深い

提案も多く、それだけに審査は大変な仕事でした。

提案がその「キャンパスベンチャーグランプリ」の趣旨にあうかという視点で審査にあたりました。「キャンパスベンチャーグランプリ」の趣旨はその名前によく表されています。

すなわち、「キャンパス」は、若者らしき、学生としての

審査委員長

茂里 一紘氏

興味深い提案多数

説得力あるデータも大事

摘むことだけはしてはならないとも心がけて審査にあたり

をあてにした事業やサークル活動、あるいはゼミ活動とは異なる事業であることを意識する必要があります。一人で行う提案もいくつかありましたが、事業化には仲間が必要です。

時間を限られているプレゼンでは、提案する内容の説明に時間を割くことが大切です。提案するに至った背景を纏々説明するプレゼンがあり

題を克服できることを裏付けるデータです。まだ存在しない新しいこと

がらに対して説得力のあるデータを整えるには、知性・工夫が必要です。

入選された方々はこれを機にさらに一歩前に進んでいた

だきたいと思えます。審査委員が若者の可能性を見抜くことができないこともありま

す。惜しくも入選を逸した方々は、今後も果敢に挑戦して

ほしいと思います。

本事業を支援いただいている関係各位には本事業が若者の素晴らしい教育の機会となっていることを報告し、お礼を申し上げます。

(広島県発明協会会長)



思いは、変わりません。

揺れる一点の炎を、一枚の青葉に。
それは地球からのいのちの贈りもの。
変わることで見えてくる、変わらない私たちの思い。
新しい世代のこれからを見つめて。
変わらず、この街と。

広島ガス株式会社

本社 広島市南区皆実町2丁目7-1 〒734 8555 TEL 082.251.2151(代表)
www.hiroshima-gas.co.jp

